

# 島建 2012 Vol.121 会報



今年1年の安全を願い出雲大社で祈禱する建災防島支部の役員ら

## ② 年頭所感

島根県建設業協会 会長 中筋 豊通  
全国建設業協会 会長 浅沼 健一

## ④ 協会

正副会長と地区協会役員との意見交換会  
島根県建設産業のあり方検討会への参加について  
積算専門委員会を開催

## ⑦ 青年部会

設計積算にかかる座談会

### 技士会

監理技術者講習

### 建災防

安全パトなど意見交換

## ⑧ 建災防島根県支部平成24年度各種講習会実施予定表

## ⑩ 活動だより

隠岐 — 藤井京大教授が講演  
邑智 — 労災発生受け労働安全研修  
浜田 — 品質管理講習会開く

## ⑫ 雇用改善

高校生の就職希望アンケート

社団法人 島根県建設業協会

松江市西嫁島1丁目3番17-101号 TEL 0852(21)9004 FAX 0852(31)2166

# 年頭所感

## 真剣に、そして 「ポジティブ・サムの思考を！」



社団法人  
島根県建設業協会

会長 中筋 豊通

平成24年 壬辰年 明けましておめでとうございます。

平素は協会の活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り本当にありがとうございます。本年が皆さまにとりまして、素晴らしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は、東日本大震災、原発事故、集中豪雨、野田内閣誕生、なでしこジャパン世界一、記録的円高、TPP交渉参加を表明、東電、初の計画停電……。世界を見ると、金正日総書記が死去、欧州の財政危機拡大、中東に民主化の波、タイで大洪水発生、欧州に脱原発の動き、「反格差デモ」世界へ拡大、NZ地震等々、激動の1年でした。

辰年、どんな年になるのでしょうか。米国、韓国、台湾、ロシア等で選挙が、中国でも、指導者が交代します。昨年の大震災が、今までの生き方を、エネルギーのあり方を、世界経済のシステムをも変えるきっかけになったと言われていますが、今年は世界が大きく変化する「転機の年」ではないでしょうか。

東大の田中明彦副学長がこんなことを言っています。「これからは、ポジティブ・サムの思考が大切だ」と、勝ち負けを競う時代は終わった、誰か一人が成功したからといって、そのために他の人が敗者になることもない。全員が成功する道がどこかにはあるはずだ、お互いのプラス面を認め合い、分かち合うこ

とで、お互いが利益を得ることが出来るはずだ。全ての人の利益と損を足すとゼロになる、プラスとマイナスがゼロになる「ゼロ・サムの思考は終わった」と言うのです。

辰、辞書を引くと【辰】=竜 想像上の動物で、中国では古来、鱗虫の長とされ、鱗、鳳、亀、と合わせて四端の一つとして、仏教では八大竜王に分け、航海や雨乞いの守護神とする。とあります。今年は辰年、人間が宇宙の真の「長・オサ」に成れるか成れないか、天高く力強く空を舞う「昇竜」に成れるか、「竜頭蛇尾」で終わるのか、真価が問われる年、まさに、この「ポジティブ・サムの思考」お互いが真剣さを忘れず、プラス面を認め合い、信頼関係を築き、共に生きようとする心が大切ではないでしょうか。

震災後、オバマ大統領より陛下に送られた手紙「この危機への対応に際し、日本国民が見せた、勇氣、強さ、決意を、全ての米国民を代表して心からたたえます。日本がこの惨禍から立ち直り、以前よりも強くなり、その回復力を通じて他国のお手本となることを私は確信しています。……」

東日本の復旧・復興はもちろん、日本の元気のために建設産業は必要です、自信と誇りを持って、島根に住む私たちも、地域の安全・安心のために、そして島根が元気になるためには、何をすればいいのか、何が必要か、共に知恵を出し、前を向いて進もうではありませんか。日本人なら出来る、オバマ大統領だけでなく、世界の人々が日本人の素晴らしさを知っています。

平成24年壬辰年、「絆」を結び、へこたれず、諦めず、勇氣を、強さを、決意を持って、この難局を乗り切れるよう頑張ってください。

ありがとうございました、今年も宜しくお祈りいたします。

# 後世に誇れる復興と 国土づくりを目指して



社団法人  
全国建設業協会

会長 浅沼 健一

平成24年の新年を迎え、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。平素は本会の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、あらためて厚くお礼を申し上げます。

昨年は、東日本大震災、集中豪雨および台風被害など、日本が「災害列島」であることを強く認識させられた1年でした。大変多くの方々がお亡くなりになり罹災されましたこと、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。これらの被災地で、地域の建設企業は、使命感を持って復旧・復興に当たっております。特に大震災の発生直後は、昼夜を問わず自衛隊の先導を務め、がれきの撤去や道路の啓開作業に従事しました。これらのご苦勞と責任感に対し、心からお礼と感謝を申し上げます。

震災以後、私が全国の各都道府県協会の皆さまと接する中で、大変強く感じましたことは、「地域の安心・安全を守るのは自分たちだ」という気概です。本年は復興事業が本格化しますが、本会としては、復興においても、全国防災においても、大手企業から地元の中堅・中小企業まで全国2万社以上の会員により構成される組織特性を生かし、それぞれが自分たちの得意分野で最大限の力を発揮し、100年後の国民に誇れるような復興と国土づくりを目指したいと考えております。

そのため政府に対しては、「国民が安全・安心して暮らせる社会基盤の構築」に向け、「地域の実情や災害対応に配慮した国土保全ビジョン」を早期に

策定し、「早急な社会資本整備の推進」に着実に取り組んでいただきたいと望んでおります。本会としても、最大限の努力をしていきたいと考えております。

本年は、米国、韓国、台湾、ロシア等では選挙、中国では指導者交代が行われ、大きな転換が予測されます。ユーロ危機、米国の二番底懸念、中国、新興国の状況を考えますと、デフレ、円高、原発問題など、依然として不透明感は払拭できませんが、遅れていた大震災の復旧・復興などを契機に、日本が徐々に機関車役を担わなくてはなりません。われわれ建設業に携わるものとしては、どんなに厳しい状況であっても、社会資本整備を行うことにより、国民の安全・安心を確保し、地域経済と雇用を維持する建設業界の責務を果たし続けなくてはなりません。

本会としては、地域社会に不可欠な建設企業が活力を回復し、その責務を持続的に果たすことができるよう、次代を担う人材の確保・育成と技術の継承への取り組みを行うとともに、昨年国土交通省から示された「建設産業の再生と発展のための方策2011」の早期具体化に向け、協力および提言を行ってまいります。

また、われわれ建設業は、国民・社会に対し、社会資本整備の重要性とそれを担う建設業の役割を正しく認識していただくことも重要です。そのため「国民からありがとうと感謝され、働く人びとが自らを誇れる建設業界」を目指し、コンプライアンスの徹底はもちろんのこと、CSRへの取り組みや戦略的広報活動などの事業活動を一層強化してまいります。

最後に、建設業界がより良い業界となりますよう、各都道府県協会並びに関係各位の皆さま方のご協力を心よりお願い申し上げますとともに、平成24年がわが国の活力ある再生に向け、充実した輝かしい年でありますよう祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

# 建設業協会

## 正副会長と地区協会役員との意見交換会

平成22・23年度基本方針に則り、協会運営・協会要望に反映させるため、正副会長と地区協会の役員との意見交換会を開催した。(12/9

安来地区)

○今後、各地区でおこなった意見交換での意見を集約し、取りまとめる予定としている。



## 島根県建設産業のあり方検討会への参加について

島根県においては、公共事業費の大幅な縮減により大きな影響を受ける建設産業を支援するため、平成14年以降建設産業対策の方針を策定し、直近では平成19年に外部の有識者による検討会を設置し、経営基盤の強化、企業合併、新分野進出等の支援策が策定されました。

この支援策が平成23年度までを目途とするものであるため、今後の建設産業のあり方や建設産業に対する支援策について提言することを目的とする「建設産業のあり方検討会」が設置され、今年度中に提言を取りまとめることとされています。

「建設産業のあり方検討会」では、厳しい経営状況にある建設産業が今後も社会資本整備や地域の安全安心の担い手としての役割を果たすために、健全な建設業界の維持育成や新分野進出の支援のあり方などについて検討が行われています。協会からも検討会委員を委嘱され出席しています。

今後は提言の取りまとめが行われ、島根県知事に対し提言がなされます。次頁は、建設興業タイムスにて2011年11月に5回に分けて連載された記事の要約版です。

### 「建設産業のあり方検討会」委員

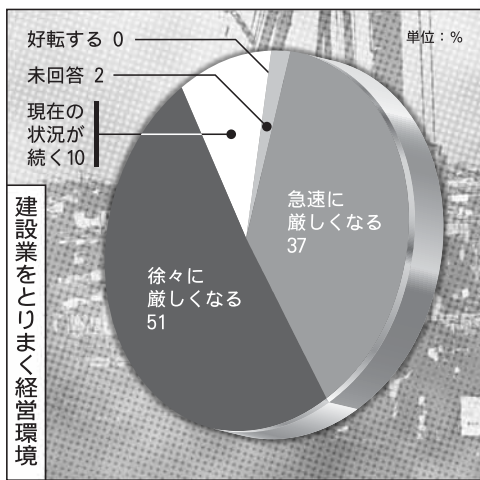
	氏名	職名
学識経験	大屋 誠	松江工業高等専門学校 環境・建設工学科准教授
	言根 雅弘	西日本建設業保証(株) 島根支店長
産業界	門脇 廣	(社)島根県建設業協会 専務理事
	原 諭	(社)島根県建設業協会 青年部会会長
	川井 香織	(社)島根県建築士会 女性委員会委員長
	三原 雅野	(株)三原組
	勝部 仁美	(株)あおき 取締役
商工団体	三澤 知恵子	島根県商工会連合会 女性部副会長
市町村	景山 登美男	飯南町副町長
	釜瀬 隆司	江津市産業振興部長
	桑野 修	邑南町副町長
計		11名

### 今が底なのか

県土木部の公共事業費（特別会計含む）は、1998（平成10）年度の1856億円をピークに、11年度9月補正後にはピーク時の40%に当たる750億円にまで落ち込み。ある委員は「ピーク時の40%はよく聞く話だが、果たして今が底なのか。それが知りたい」と発言。これに対し、高田龍土木総務課長は「必要な公共事業をするという点では国交省も同様の意識であり、現状でよいとは思っていない。ただ、県の財政状況が厳しく、今後の方針は検討中だが、底になるよう頑張らないといけない」と答えた。

### 88%が「厳しさを増す」

県土木部は、11・12年度県入札参加資格申請を行った建設業者1138社を対象に昨年1月実施した「建設産業実態調査」の結果を公表。建設業の経営環境について「急速に厳しくなる」37%、「徐々に厳しくなる」51%を合わせた88%の企業が厳しい見方をしていると説明。また、公共事業の削減は死活問題だとし、会社の将来性を厳しいと認識している企業は87.7%に上っている。



### 深刻なデフレ構造

門脇廣県建設業協会専務理事は、さまざまな統計データなどを引用しながら「業界の現状および課題」について問題提起。この中で公共工事設計労務単価については、1998（平成10）年度をピークに下落傾向にあると説明。「鶏が先か、卵が先か」ではないが、発注者は労務費調査により決定された労務単価を用いて工事費を積算。受注者は設計単価の下落を受けて、労務コストを削減。そして、その削減分が労務費調査を経て、再び設計労務単価に反映されるというデフレスパイラルの構造を問題視した。

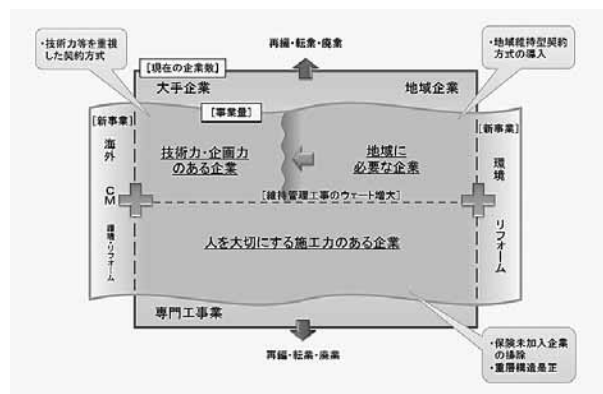


### 2割強が債務超過

西日本建設業保証島根支店の分析によると、県内の建設産業の財務状況は、いわゆる『赤字』の状況を指す営業損失の比率が、09年度はほぼ半数に当たる47.7%。負債（債務）が資産（財産）を上回った状態を指す『債務超過』は21.9%と2割強を占め、5社に1社が該当する。このような状況下でも企業倒産が比較的に少ないのは、資金繰り円滑化支援緊急資金等の緊急融資などが奏効したとみられている。

### 継続経営を可能に

「建設産業戦略会議」（座長・大森文彦 東洋大法学部教授・弁護士、7人）は昨年1月、「建設産業の再生と発展のための方策に関する当面の基本方針」をまとめ、地域建設業、専門工事業、大手企業のそれぞれの方向性について「当面の基本スキーム」を示した。地域建設業については、地域の経済・雇用を支え、災害対応やインフラの維持管理など、地域社会の維持に不可欠な役割を高く評価。しかし、建設投資の急激な減少により、地域建設業の疲弊が、地域社会の衰退に影響。地域維持型契約方式の導入など、企業の自助努力を前提としながら、継続経営を可能にする方策の必要性を提起。この方策の“島根県版”が、「建設産業のあり方」であるはずだ。



## 積算専門委員会を開催

1月25日（水）、島根県建設業会館にて、午前中に建築、午後に土木の積算専門委員会が開催され、各要望事項について県と意見交換した。



### 要 望 事 項

#### 土 木

- ◇設計等にかかる事項
  - 1 当初設計図書の不備への対応について
  - 2 残土処理について
- ◇積算等にかかる事項
  - 3 資材単価について
  - 4 市場単価について
  - 5 積算基準にない工種の積算条件について
  - 6 仮設工について
  - 7 建設機械の選定について
  - 8 交通誘導員の経費について
  - 9 災害復旧工事の表土整地について
  - 10 資材単価等の小規模割増しについて
  - 11 建設機械の運搬費について
  - 12 仮設材の損料及び賃料計算について
  - 13 隠岐地区の（海上）輸送費について
- ◇工事検査等にかかる事項
  - 15 工事評定点の取扱いについて
- ◇工事関係書類にかかる事項
  - 16 積算資料のデータ化について
  - 17 電子納品について
- ◇市町村への指導等にかかる事項
  - 18 工事関係書類の統一化について
- ◇その他
  - 19 総合評価（標準型）の技術提案の取扱いについて
  - 20 入札時の配置予定技術者について
  - 21 入札結果詳細検索の検索条件の追加について
  - 22 電子入札における各種提出期限について

#### 建 築

- ◇設計等にかかる事項
  - 1 地盤調査の不備における対応について
  - 2 改修工事における十分な現場調査について
  - 3 設計図面について
  - 4 材料指定について
- ◇積算等にかかる事項
  - 5 参考数量について
  - 6 小規模工事による単価の見直しについて
  - 7 工事費内訳書について
- ◇施工管理等にかかる事項
  - 8 ワンデーレスポンスについて
- ◇工事検査等にかかる事項
  - 9 分割発注時の工事検査について
- ◇工事関係書類にかかる事項
  - 10 工事写真について
- ◇市町村への指導等にかかる事項
  - 11 施設側と設計者との十分な協議について
  - 12 市町村に対する指導について
- ◇その他
  - 13 設計事務所の対応について

## 青年部会

### 設計積算に関する座談会

1月24日（火）、松江市内にて県土木部より9人、青年部会からは部会長をはじめ13人が参加し、「県産木材を使用した工事用看板等の使用」「現場と設計図書の不一致に起因する問題点」をテーマに座談会が開催され、活発な意見交換が行われた。



## 技士会

### 監理技術者講習

今年度に引き続き、平成24年度も右記の通り監理技術者講習を開催。

受講申し込みは、全国土木施工管理技士会連

合会HP（<http://www.ejcm.or.jp/>）から。費用は9,500円（インターネット申し込みの場合、紙申し込みは9,800円＋郵便振込手数料）

○平成24年9月4日（火） 出雲建設会館

○平成24年9月11日（火） 浜田建設会館

## 建災防

### 安全パトなど意見交換

建災防県支部は11月17日（木）、出雲市内で安全指導者研修会を開き、約40人が参加。パトロールや安全衛生教育の進め方などグループごとに討議。「点検結果を発注者へ報告したほうが良いのでは」「対象現場を予告しないほうが良いのでは」など意見交換した。



# 建災防島根県支部平成24年度

講習名	学科	学科会場	実技	実技会場
<b>技能講習</b>				
不整地運搬車運転技能講習	4月6日	出雲建設会館	4月10日～ 4月13日	アユミ工業(株)
高所作業車運転技能講習	6月12日	出雲建設会館	6月18日～ 6月25日	アユミ工業(株)
	6月14日	島根県建設業会館		
	10月4日	島根県建設業会館	10月9日～ 10月12日	アユミ工業(株)
	10月22日	浜田建設会館	10月24日～ 10月26日	ライト本社工場
車両系建設機械（整地用）運転技能講習	8月21日～ 8月22日	浜田建設会館	9月3日～ 9月11日	アユミ工業(株)
	8月23日～ 8月24日	出雲建設会館		
車両系建設機械（解体用）運転技能講習	9月13日	出雲建設会館	9月18日～ 9月20日	アユミ工業(株)
型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習	6月7日～ 6月8日	出雲建設会館		
地山の掘削及び土止支保工作業主任者技能講習 （免除のみ）	7月6日	島根県建設業会館		
地山の掘削及び土止支保工作業主任者技能講習 （出雲会場）	7月11日～ 7月13日	出雲建設会館		
足場の組立て等作業主任者技能講習	7月26日～ 7月27日	出雲建設会館		
	11月8日～ 11月9日	浜田建設会館		
	11月21日～ 11月22日	島根県建設業会館		
<b>特別教育</b>				
小型車両系建設機械運転特別教育	4月2日	出雲建設会館	4月3日～ 4月5日	アユミ工業(株)
	11月27日	出雲建設会館	11月28日～ 11月30日	アユミ工業(株)
ローラー運転特別教育	7月17日	出雲建設会館	7月18日～ 7月20日	アユミ工業(株)
石綿取扱業務従事者特別教育	11月20日	出雲建設会館		
低圧電気取扱い業務特別教育	8月6日	島根県建設業会館		
	10月2日	出雲建設会館		
自由研削用といしの取替え等の業務に係る特別教育	6月22日	島根県建設業会館		



## 各種講習実施予定表

講習名	学科	学科会場
安全衛生教育		
丸のこ等取扱い作業従事者教育	9月19日	浜田建設会館
	<b>2月16日</b>	島根県建設業会館
振動工具取扱い作業従事者教育	10月24日	出雲建設会館
	1月30日	島根県建設業会館
職長・安全衛生責任者教育	4月18日～4月19日	出雲建設会館
	6月20日～6月21日	浜田建設会館
	7月25日～7月26日	安来建設会館
	8月28日～8月29日	邑智建設会館
	10月10日～10月11日	大田建設会館
	11月16日～ <b>11月17日</b>	益田（ジャストホール）
	12月7日～ <b>12月8日</b>	島根県建設業会館
建設業職長のためのリスクアセスメント教育	6月27日	出雲建設会館
	8月3日	益田（ジャストホール）
足場の組立等作業主任者能力向上教育（定期）及び 施工管理者等のための足場点検実務者研修	<b>7月21日</b>	島根県建設業会館
	10月17日	浜田建設会館
車両系建設機械（整地用）運転業務従事者安全衛生教育（定期）	6月29日	出雲建設会館
安全衛生推進者能力向上教育（初任時）	1月23日	出雲建設会館
現場管理者統括管理講習	6月25日	雲南建設会館
	7月20日	出雲建設会館
	8月8日	隠岐建設会館
	9月5日	益田（ジャストホール）
	11月7日	仁多建設会館
	<b>1月19日</b>	島根県建設業会館
総合工事業者（元請業者）のためのリスクアセスメント研修	8月22日	島根県建設業会館
店社安全衛生管理者能力向上教育（初任時教育）	11月14日	島根県建設業会館
職長・安全衛生責任者レベルアップ教育	8月24日	浜田建設会館
	9月12日	島根県建設業会館
	2月6日	出雲建設会館
建設業等における作業者のための熱中症予防教育	5月30日	島根県建設業会館
	6月6日	浜田建設会館

太字 は土曜日開催

# 活動だより



## 隠岐

### 藤井京大教授が講演

#### 豊かで強い日本を

隠岐地区建設業協会（渡辺栄三会長）は12月23日（金）、京大都市社会工学専攻の藤井聡教授を招き、「地方経済と社会資本整備—公共工事が地域にもたらす影響—」と題した講演会を開催。会員や行政関係者ら約150人が参加した。

渡辺会長が「公共事業の削減で隠岐地区の活気も少ないように感じるが、今日の講演を機に、業界発展へのきっかけづくりにしてほしい」とあいさつした。

藤井氏は講演で、高度成長期に大量につくられた橋が10年ごろから一気に寿命を迎え、日本は経験したことのない大更新時代を迎えること

など踏まえ、豊かで強い日本をつくるためには①更新・防災・都市再生・経済力増進などのための大規模インフラ事業②デフレ脱却のための公共投資—の2つの意味を含めた公共事業こそ日本を救うと訴えた。

また、われわれがすべきことは▷適切な情報をしっかり理解する▷不適切な情報は是正・批判する▷選挙に真剣に向き合う—などとアドバイスした。



## 邑智

### 労災発生受け労働安全研修

建災防邑智分会（福井竜夫分会長）と島根邑智建設業協会（同会長）は、11月に邑智郡管内で相次いで2件の労働災害が発生したことを受け、12月6日（火）、労働安全研修会を急きょ開催。管内の建設業者の代表や現場責任者のほか行政機関の関係者ら約100人が参加した。

研修会では、県央県土整備事務所の大東技術検査監を講師に、川本町内の砂防工事現場で現場研修を実施。①足場からラジェットが落下②

クレーン作業で資材が落下③足場から作業員が転落④作業員とバックホウのバケットが接触—と工事現場で起こりうる事故を想定し実証実験した。



浜田

## 品質管理講習会開く

浜田地区建設業協会（中垣健会長）は12月14日（土）、技術講習会を開き、会員のほか行政関係者ら約80人が参加した。

広島大学工学研究科の佐藤良一教授が「コンクリート構造物の品質向上・耐久性向上を目指して」と題し講演。コンクリートの成分や構成材料の特徴など説明し、▷配合の緻密化▷十分な締め固め・養生▷温度管理—など施工上の重

要なポイントを解説した。

また、安達久仁彦国交省浜田河川国道事務所長は「山陰自動車道の整備について」と題し、管内の現況と今後の見通しなど話した。



## 一般社団法人移行

現在、社団法人島根県建設業協会では平成25年4月1日の一般社団法人化に向けて、

- ・一般社団法人用定款
- ・公益目的支出計画

について、2月に新公益法人制度研究委員会・理事会を開催し検討を行い、平成24年5月以降に臨時総会を開催し、一般社団法人移行申請をする予定となっています。



現場見学会参加の高校生148人に聞きました

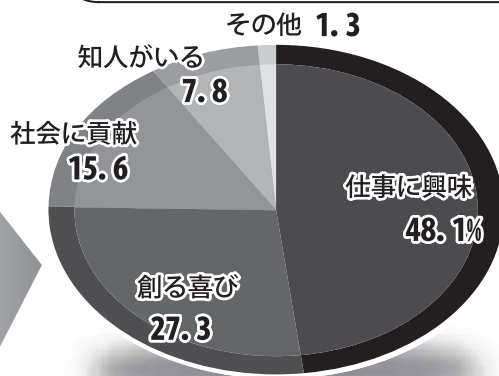
## 就職希望アンケート



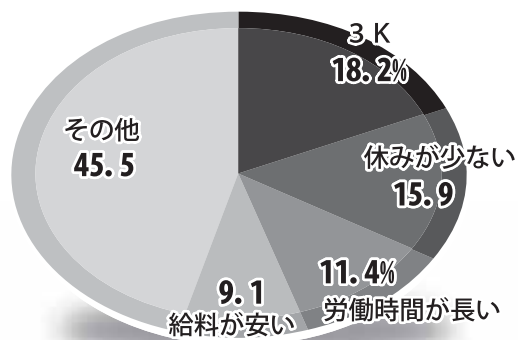
Q 1. 就職希望について  
教えてください



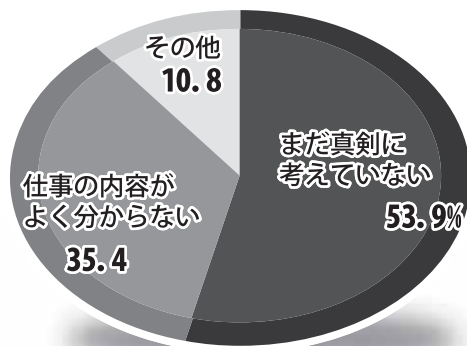
Q 2. 建設業に就職したい理由



Q 3. 建設業関係の仕事に就きたくない理由



Q 4. まだ決めてない理由



## 建退共島根県支部

## パソコンで入力できる様式の策定について

平成22年9月に建退共各種申請様式を全面改正し、本部ホームページからダウンロード（印刷）して作成して頂くようお願いをしているところですが、この度「パソコンで直接入力できる様式を提供して欲しい」との要望が多数あったことから、共済契約者の事務処理の向上を図ることを目的として一部の申請書についてパソコンで入力できる様式を策定し建退共本部ホームページに掲載しましたので是非ご利用ください。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構  
建設業退職金共済事業本部  
略称：建退共（けんたいきょう）

▼ 制度について  
▼ 手続きのご案内  
▼ 退職金試算  
▼ ダウンロード

▼ 1.各種申請書  
▼ 2.制度の手引き（PDF形式）  
▼ 3.制度のあらまし  
▼ 4.知っていますか？建退共  
▼ 5.労働者用リーフレット

▼ 情報公開  
▼ Q & A  
▼ 所在地  
▼ 資料等請求方法  
▼ リンク  
▼ 提携サービス  
▼ 建退共加入事業所情報

■ 担当部署一覧  
■ ご意見・ご質問  
■ サイトマップ  
■ このサイトについて  
■ 機密ページ  
■ お問い合わせ

▼ ダウンロード

■ 1.各種申請書

・各種申請手続きにつきましては、申請書を1部作成して建退共支部にご提出下さい。  
・建退共の各種申請書は、A4サイズです。  
・各申請書を印刷するときは、拡大/縮小率を100%として印刷して下さい。  
（印刷メニューにおいて、ページ処理項目の「ページの拡大/縮小」が「なし」になっていることを確認の上、実行して下さい。）

Get Adobe Reader  
ご覧になるにはAdobeReaderが必要です。

▼ パソコンで入力できるPDFフォーム  
お客様のパソコンにダウンロードしてご使用下さい。

1.手帳申込書（様式第002号）  
2.手帳更新申請書（様式第005号）  
3.手帳更新申請書（掛金助成）（様式第006号）

▼ ダウンロードの方法はこちらから（PDF形式）  
▼ 様式のダウンロードはこちらから（ZIP形式）  
解凍できない場合は、解凍ソフトのダウンロードをお願いいたします。

▼ 各種申請書  
下記の様式を印刷後、ご記入ください。

▼ 1.契約申込書

見る/PDF 印刷 記入例を見る

- ・手帳申込書（様式002号）
- ・手帳更新申請書（様式第005号）
- ・手帳更新申請書（掛金助成）（様式006号）

の3点が、お使いのパソコンにダウンロードした後、直接入力して作成できます。

建退共 検索

## 建退共手続き用紙の入手方法について

## 退職金請求書

平成22年9月より様式変更が行われています。各地区協会事務局に置いてあります。

## 加入・履行証明願

島根県支部独自の様式ですので、建退共島根県支部HP（<http://www.shimakenkyo.or.jp/shimakenkyo/kentaikyo.html>）から印刷（ダウンロード）してください。

## その他用紙

平成22年9月に様式全面変更が行われました。建退共本部HP（<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>）より印刷（ダウンロード）して作成してください。

- 建設業界による自主的な共済制度で掛金が安い。
- 元請・下請問わず無記名で補償。
- 元請・下請それぞれの契約者へ重複支払い。
- 企業の諸費用部分も補償。
- 事業主(契約者)への速やかな支払い。
- 経営事項審査において15点の加点。

# 建設共済

法定外労災補償制度

おまかせください!

労災上乘せ補償から、  
奨学金まで。

## 完成工事高契約会員加入状況

平成24年1月31日現在

地区	会員	会員加入率(%)	23年度新規加入(社)
松江	39	55.7	1
安来	21	100.0	5
雲南	36	70.6	19
仁多	16	88.9	4
出雲	61	63.5	4
大田	11	30.6	-
邑智	24	54.5	2
浜田	19	33.9	1
益田	6	20.7	-
隠岐	23	62.2	3
合計	256	55.9	39

## 財団法人 建設業福祉共済団

(厚生労働省・国土交通省共管)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

■ 取扱機関：(社)島根県建設業協会

〒690-0048 松江市西嫁島1-3-17-101

TEL0852-21-9004 FAX0852-31-2166

「建設共済」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

詳しい情報、掛金試算などのお問い合わせは

Tel.03-3591-8451

<http://www.kyousaidan.or.jp/>